

ひろば大代

NO.445

大代まちづくり
センター

H28.8.23

「都市とふるさとを

結ぶ交流会」開催

8月13日(土)少し暑さがやわらいだ旧大代小学校の体育館に於いて「第31回都市とふるさとを結ぶ交流会」が開催されました。午前中は地区社協主催の「都市とふるさとの子供のそば打ち体験」が「きずな館」で行われ、楽しい夏休みの思い出が出来たのではないのでしょうか？

午後6時30分から始まった交流会では、開会式に続いて大江高山神楽社中による壮大な舞や、くどき文句が懐かしい盆踊り、特産品が当たる楽しい抽選会などに200名以上の大勢の方々の参加がありました。有難うございました。来年もお待ちしております。



そば打ち体験に

参加して

右原 渡利マサコ

今年の夏は猛暑が続き、オリンピック、高校野球と暑い熱いお盆でした。

8月13日(土)社協主催の小中学生を対象にした「そば打ち体験」に姫路から中学生2人と久利町から小学生2人の孫と参加させてもらいましたが、もちろん誰も自分で打つのは初めての

ことです。高山そばの先生に指導を受けながら、まずは粉と水でこねます。簡単そうですが、なかなか指に粉がくっついて思うようにいきません。

なんとかこねる事が出来て、今度はそばのかたまりを、棒を使って伸ばします。上下、左右と何回もやりましたが、上手く長方形になりません。少しひし形になっていましたが合格となりました。

今度は最後の包丁で切る工程です。これも子供にはなかなか難しく集中してやっていました。だんだん上手くなり細く切れていました。隣で見ている父兄も上手に出来ているという安堵感でいっぱいでした。

みんなで作ったそのそばをいただいて美味しかったです。いつもは気にせずよばれていましたが、「おそばも奥が深いなあ」と感じるどころです。ご馳走様でした。

楽しかったお盆も終り、また静かな暮らしに戻りました。孫たちも残り少なくなった夏休みの宿題や勉強などに慌てていることでしょう。

初めての

そば打ち体験



四日市 谷口陽子

8月13日、きずな館で地区社協主催の子供対象そば打ち体験が行われました。

私は、地域の子供さんを誘って初めてそば打ちを体験しました。意外と子供連れの家族が多くグループ分けをして挑戦しました。その日、大代にはめったにない子供達の笑い声が響いていました。

きずな館蔵の会場に入ると、そば粉十割、500g、水250CC、道具は、ふるい、ねり鉢、延べ板、麺棒、そば切り包丁、小間板が準備してありました。今回のそば打ちの工程はカットするまで。茹でる所からは、はぐるま会さんをお願いがしてありました。私のグループは大人2人、子供2人の4人でスタートしました。子供達は手慣れた感じでそば粉をふるいにかけて順調にこねの工程に進んでいました。私たち大人もちよっとお邪魔してこねさせてもらいました。力のいる事！

円錐形のように丸め麺棒で生地を伸ばしに入った時に事件発生。伸びない、いくら麺棒で延ばしても生地が大きくなる。他のグループは三枚にたたんで切り始めているというのに、我がチームは伸びない！あれ？生地にひび割れが……。どうして？SOS「はぐるま会さくらん」「コリヤァ駄目だな、もう一回作り直し」



時間をかけずに手早くする事と、課題を頂き子供達2回目に挑戦。二人力を合わせ手際よく、ねり、伸ばしと汗を

かき頑張っていました。私達、大人は失敗作の生地をなんとか食べられるようにとカットに挑戦、意外と細く切れました。ただし長さは短かったですが：私達の二回目も含め、どのグループもカット作業を終え試食タイム、そばの太さがまちまちで茹であがるのに少し時間がかかりましたが、食べ始めると「お代わり」の声が沢山！初めてそば打ちは、「楽しかった」、「おいしかった」で無事終わりました。暑い夏の日、関係者の皆さんお疲れ様でした。

きずな館を利用して

弓久出身

現埼玉県居住 岡田修二



昭和42年3月大代中学校を卒業して早や49年、前回還暦を記念しての同窓会を三瓶荘で実施してから5年ぶりでしたが「8月16日正午から同窓会をきずな館で行う。」との連絡が高村清君からあり、一つ返事で出席することになりました。

「出席する」と返事をしたのは良かったのですが、心配がいくつもありま

した。まず、お盆の時期に帰省する手段です。幸い妻と長男と一緒に帰省してくれるという事で車により帰省することとなりました。

次に宿泊する場所ですが、きずな館で宿泊できることを知っていたので、できればそのようにしようとの思いから高村君にお願いしました。さらに宿泊した時の食事の心配でした。近くにはコンビニ等は無いので、あらかじめカップ麺やおにぎりを用意して行きました。

私達の同窓生は卒業時37名でしたが今回の参加は17名でした。卒業以来49年ぶりの同級生はそれぞれ相応の歳をとっており、特に女性はだれか分からなく、とまどう場面もありました。そしてみなで中学生当時のことや子供、孫、病気の話に盛り上がり、あつという間の同窓会でした。「また元気に会おう」と約束して別れました。夕食は女性の同窓生が作ってくれた焼うどんをおいしく食べ、音頭をとってくれた高村君と何年振りかで大代町で一緒に快適に就寝しました。

きずな館は風呂、台所、トイレ、寝

具などが用意されており、家族、グループ等、同窓会などのイベントには周りに気兼ねなく使えると思えました。今回の会は大森から仕出し弁当をとり、飲み物は地元の同級生の岡田繁樹君が準備してくれました。特に生ビール用のサーバーは好評でした。仕出し弁当をつつきながらの楽しい同窓会を思い出の1ページに加えたく思います。

旧学校に響いた

子供たちの歓声

ヒブナすくい



社協会長 高村 清

7月24日、大代小学校プールで、高山公民館長、大代まちづくりセンター長同席のもと、子どもたちのヒブナすくいを行いました。ヒブナすくい用のプールは、高学年用として小学校プールの校舎建物側約3メートル部分を仕切ったものと、就学前の子ども用としてプールサイドに設置した簡易用プール(かつて幼稚園で使用していたもの)2か所を設け、それぞれヒブナを放流し、小さなお客さんたちを待っています。

した。

すると、午前10時前、子どもたちの声が久しく途絶えていた学校に、親御さんとともに男女の水着姿の子どもたちの嬉しそうな声が聞こえ始めました。私たちスタッフの前に来ると、元気な声で「おはようございます!」「こんにちは!」と挨拶する子ども、はにかみながら通り過ぎる子どもたちなど皆笑顔にあふれ、これから始まるヒブナすくいへのスタッフの意気込みが助長される光景でした。

開始前に、子どもたちへ、「気を付けて遊ぶように」とのお話、親御さんへの注意事項を伝え、待ちきれない子どもたち。早速開始。

それぞれ「たも」を持ち、高学年の子どもはヒブナの追跡、ヒブナはスイスイと「簡単に捕まっていたまるか。」といった感じで、一方、小さなプールでは、かわいい漁師さんも「たも」を持って「キャツ、キャツ」との歓声。しばらくすると、高学年側で、ヒブナの一匹が不覚にも「たも」の餌食となりました。すると、続いて別の子どもも

すくい上げ歓声、親御さん、スタッフの応援の声のテンションも上がりました。

一方、就学前の子どもの方も、落ちて着いてのヒブナすくいとなったのかと思いきや、なかなか「たも」に入りません。でも、少しずつヒブナを追跡する姿が小さな漁師さんの目になっていきます。そのうち、高学年に負けじと「たも」にヒブナを捕まえた小さな漁師さん、ヒブナを触り、初めての少しぬるぬるした感触を、その顔から何とも言えない表情を醸し出していました。

さて、プール側で、一匹、比較的大きなヒブナを放流しておりましたが、時間の経過とともに、最後には、子ども同士が協力しての追い込みに遭ったのか、力尽き捕まってしまい、子どもたちの雄叫びをよんでしまいました。その大きなヒブナを高学年の子どもたちがプールサイドの小さなプールに放すと、小さな漁師さんたちもびっくり仰天の歓声の嵐、逃げ惑う漁師さんたちの行動でした。

しかし、ここでも大きなヒブナも泳

げる範囲の少ない場所です。最後には小さな漁師さんに捕まってしまい、今度は怖さ、それをおそろおそろ触つてみて、あらためての別の生命体として認識していました。

プールでは、仕切っていた網を通り抜けたヒブナが、これまでの子ども達からやっとの思いで逃げてきて一安心したのかプール全体をゆっくりと居住空間として泳ぎまわっていました。中には、それらのヒブナに対しても、果敢に挑戦している子どももいました。時間の経過と共に、子どもたちも疲れ

あと、少しだ！



てきた感もあり、すくったヒブナをすべてプールに放流し催しを終えることにしました。

スタッフに感想を聞くと、子どもの消えたこの小学校、幼稚園、保育園に子どもの歓声を聞くことが最良の喜びとして涙ぐむ人もおり、しばらくぶりに小学校、幼稚園、保育園の主人が帰ってきて、校舎、プールが笑顔で見守ってくれた一日でした。

(掲載の写真は、今回のヒブナすくいの一幕です。)

大代町敬老会のご案内

大代地区社会福祉協議会

大代町では9月11日(日)に旧大代小学校体育館において、午前10時15分から75歳以上(129名)の方々を対象に敬老会を開催致します。

余興 10:35

*お巡りさんの腹話術他

大森駐在所他3名

*南京玉すだれ

五十猛 熊谷・林さん

*神楽大会 大江高山神楽社中

※皆さんお誘い合わせお出かけ下さい。

介護予防支援事業

「きずなグループ」紹介

●きずなグループ



代表 佐藤京子

昨年4月から大田市社会福祉協議会の依頼により、きずな館にて毎月一回、健康体操や施設の方のお話、栄養士さんによるお話しや薬剤師さんから薬の飲み方、年末には忘年会を兼ねて踊りを見たりします。



山藤駐在所さんには毎月来て頂き、振込みサギや家のカギかけ、悪質電話の対処法などのお話を聞いたりしています。

食事では大代そばを作って食べたり、利用者の方とスタッフで昼食を作り、和室で所狭しと頂きます。

月一回、きずな館に集まり、お話を
して食事をして又、来月元気にきずな館でお会いできればと思っております。



俳句

あすなる句会

椿 柿丸寿枝

恙なき つが 身にと夫飲む 一夜酒 すたれ

井戸水に 恵まれ住みて 古簾

椿 花田時子

朝曇 鴉がねらう 畑仕事

ねばねばの オクラ薬味に 一人膳

柿田 横手いちえ

茗荷の子 味噌汁にして 朝餉かな

畦道に 立ちて見渡す 稲の花

下市 今田文字

御神興 太鼓の響く 夏祭

茗荷の子 里の市場に 並びをり

川上 岩田律枝
かけ声と 共の暮らしや 花木槿
谷狭し 一面盛り 稲の花



お知らせ

◎お礼 大代高山会より

都市交流会においてご芳志を頂きました。厚くお礼申し上げます。

田中憲経様 市原幸文様

今田 潔様 山根金造様

松本健一様

◎大代地区社協より

八反田 中島博隆様より

香典返しにかえ御厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。

9月行事予定



* * * * *

▼ 11日(日) 大代町敬老会

▼ 20日(火) さくららんぼ教室

▼ 21日(水) 30日(金)

秋の交通安全週間

▼ 23日(金) 連合自治会

●大代カルバート通信

残暑の厳しい日が続きます。お元気で過ごしましょうか。

県道路改良工事大田桜江線大代2工区（本郷）に於いて、今年は、現場が大代なので涼しい夏を過ごせると期待していましたが、当てが外れました。それでも、おかげさまで本工事の方は順調に進捗をしまして、益前に足場をはずすことができました。見て頂けましたでしょうか。

もう少し、周りを整備して今回の工事は終了します。

昨年、11月に着工してから今日まで、地元の皆様には大変にご迷惑をおかけいたしました。

この期間中たくさんのご理解とご協力を頂きありがとうございました。

東幸建設㈱

スタッフ一同



道路はカルバートの天端より8m位高くなります。
およそこのあたり



カルバートの内空は縦5m×横4m
中に人が立つとこんな感じです。

